

『これ大和西大寺駅やねん』 5歳児 2月 伏見こども園



⑤ 工事中



②



③ 点字ブロック



① 線路・電車



④ 車掌さんが
いるところ

線路をつくらう



エピソード

AくんとBくんが近くにあったいろいろな長さの樋を砂場に運び、列になるように並べ始めました。Aくんは①樋を並べ終わると、石を拾って来てそれぞれの樋に数個並べて置きました。その隣ではBくんが、並べた樋の横に②細長い筒状のパイプの口を砂に押し付けて丸型をたくさん付けていました。保育者が「何をつくっているの」と尋ねると、Aくん「これ(樋)線路で電車(石)がとまっているねん」、Bくん「これ(パイプで付けた丸型)は③点字ブロック。線路に落ちないようにしてあるんだよ」と、教えてくれました。保育者「面白いものつくっているね」と声をかけると、Aくん「これ大和西大寺駅やねん」と、嬉しそうに話していました。

遊んでいくうちにどんどん楽しくなってきた2人は小さな三角コーンを置いて、Aくん④「これは車掌さんがいるところ」、Bくん「まだ電車は走らないから棒とコーンを置いて、⑤工事中にしておこう」、Aくん「駅には急行がとまっているよ」と、遊び場の近くにあるものを運んでは駅をつくって遊んでいました。

保育者の思い

- ・Aくん、Bくんが砂場の近くにあったものを運び、考えながら並べたり置いたりしていたので、「何をつくっているのか」を知りたいと思い、声をかけました。
- ・線路や電車などを樋や石で見立てたり、駅にあるものをイメージしながらつくったりしている姿が面白いと感じました。
- ・AくんとBくんが「大和西大寺駅」をともにイメージしている姿や、2人の遊びの世界を大切にしたいと思い、近くで見守りました。

子どもの育ちや学び

- 樋や石などの使いなれている用具や自然物を取り入れ、線路や電車に見立てて遊んでいます。今までに使ったことがあるもののため、形や色などを考えて遊びに使えるものを選んでいます。
- 駅にあるものが何のために使われているか、「もの」と「こと」とのつながりを感じたり、言葉で伝えたりしています。
 - ・点字ブロック→線路に落ちないように示すためのもの(安全に過ごせるようにするためのもの)
- 今までの生活経験を活かしたり、「大和西大寺駅」というイメージを友達と共有したりしながら遊んでいます。遊びの中で社会とのつながりや自分達が住んでいる町について関心をもっています。

家庭だったら・・・

子ども達が今までに経験したことを遊びに取り入れたり、友達とイメージをしたりしながら遊ぶ姿が見られました。子ども達同士の遊びの世界を大切にするとともに、私達も子ども達の遊びの世界を見守りつつ、楽しみたいですね。